

盲導犬センター施設における清掃ボランティアの実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、社会貢献活動の一環として、2003年秋から、社員のボランティアによる盲導犬センター施設の清掃活動を企画・実施しておりますが、昨4月19日、財団法人栃木盲導犬センター(理事長:中山慶恵子)の協力により、本年度1回目(通算12回目)の清掃ボランティアを実施しました。
2. 盲導犬センターとは盲導犬を育成する施設のことで、現在、全国に9施設12ヶ所あります。各施設はそれぞれ独立した団体であり、寄付金等を主な収入源として運営されているものの、財政的には厳しく、施設の管理や来訪者の応対などの面でボランティアに頼らざるを得ない状況にあります。
3. こうした状況の下、当社としては、
 - (1)社員のボランティア活動参加のきっかけ作りになること、
 - (2)盲導犬や視覚障害者福祉への理解を深めること、
 - (3)社内で行っている盲導犬育成募金の活性化に役立つこと、
 - (4)盲導犬センター運営の一助となること、等を目的として本活動を実施しています。
4. 当日、社員らは、栃木盲導犬センターが開催したイベントに参加した後、片付け・清掃作業を行うとともに、当社の本社ビルに設置した募金箱で集められた「盲導犬育成募金」を同センターに贈呈しました。
5. 今回実施したボランティア活動の概要は次のとおりです。
 - (1)実施日:2009年4月19日(日)
 - (2)場所:栃木県宇都宮市福岡町1285(財団法人栃木盲導犬センターの施設)
 - (3)活動内容:盲導犬センター施設および周辺の清掃、募金贈呈(10,305円)など
 - (4)参加人員:約20名(グループ社員およびその家族)
6. なお、財団法人北海道盲導犬協会が4月26日に札幌市で開催するイベントに関しても、当社北海道支店(支店長:久野聰)の社員(20名程度)がその前日に行われる準備作業をボランティアとしてサポートする予定です。

以上

● 【参考資料】当日の清掃ボランティアの模様

